

諸人のここに学びて—校長室から見える風景—(43)

全但総体、応援できることに感謝

先月より、令和 8 年度全但総合体育大会が但馬地区各所で開催されました。毎週末、大型連休中にできるだけ多くの会場に行こうと思い、おじゃましました。中には、会場を間違えたり、競技が終わっていたりというものもありましたが、さまざまな部の生徒が大会、試合に出場、プレーしているのを見ることができて大変うれしく元気をもらいました。

試合に出ている生徒(選手)はいうまでもないのですが、それ以外にも生徒の様子に、とても心動かされる場面がたくさんありました。試合開始前に顧問の指示を円になって聞くときの緊張した表情、ミスをして点を取っても応援してくれる仲間、他の試合の審判をする生徒、試合終了後のミーティングでの表情など一つの大会でもいろいろな場面を見ました。結果はさまざまであつたでしょうが、これまで部活動で積み重ねたことは必ずみなさんの力になっているはずで、おつかれさまでした。県総体に出場する部活動もあります。最後まで全力でやり遂げてほしいと思います。

この春卒業した先輩が応援に来ていた部活動もありました。保護者のみなさまにも送迎や応援でお世話になりました。これまでも、さまざまに応援していただいたことと思います。ありがとうございました。また、会場に入ったときに「校長先生!おはようございます。」「見に来てもらってありがとうございます。」「試合は 11 時過ぎです。」といったように声をかけてくれてそれとてもうれしく思いました。応援できることに感謝です。

全但総体だけではなくこの間、音楽部の定期発表会も開催されました。美しい歌声を聞き、こちらも清々しい気持ちになりました。アンコール曲の歌詞に「人生のすべてに意味があるから」とありましたが、本当にその通りだと思います。

少し前の学校の写真を添えます。この時期からさらに季節が進み、木々の緑が青空に映えています。左下は奥に「和魂碑」があります。

